

本リリースは、パナソニック ネットソリューションズ株式会社・株式会社アジラの共同リリースです。各社より重複して配信される場合がございますがご了承ください。

報道関係各位

2022年1月13日  
パナソニック ネットソリューションズ株式会社  
株式会社アジラ

## 異常行動の早期対応に向けて「ArgosView」と「Asilla」が連携 広範囲にわたる異常行動の早期発見、把握、対応をサポート

映像監視システム（Video Management System、以下 VMS）の国内市場 5 年連続 No.1<sup>※1</sup> メーカー、パナソニック ネットソリューションズ株式会社（以下 パナソニック NETS）と、行動認識 AI を用いた防犯セキュリティ向けソリューションを提供する株式会社アジラ（以下 アジラ）は、異常行動の早期解決に向けて、VMS「ArgosView（アルゴスビュー）」と防犯セキュリティ映像解析 AI「Asilla（アジラ）」を連携しました。

昨今、鉄道や商業施設など、多くの人が集まる公共の場における犯罪や迷惑行為が相次いでおり、その対策の困難さが問題となっています。対策として、警備員やスタッフの増員による警備体制強化が考えられますが、労働人口が減少する中、人手による対応には限界があります。また、事件が起こり得る場所が広範囲にわたることが多く、「どこで何が起こるか分からない」ことが対策の困難さを助長しています。

そこでこの度、国内で最も多く利用されているパナソニック NETS の VMS「ArgosView」と、防犯セキュリティ映像解析 AI「Asilla（アジラ）」をシステム連携することで、広範囲にわたる施設内の異常行動検知と状況把握に加え、現場スタッフによる対応をサポートすることが可能になりました。具体的な特徴は下記の通りです。

### 「ArgosView」と「Asilla」の連携による異常行動対策ソリューションの特徴



### ① 多岐に渡る異常行動の検知と緊急対応レベルの判別が可能

ArgosView から受け取った監視カメラの映像を Asilla が解析することで、転倒、千鳥足、喧嘩、破壊行為、長時間の滞留、違和感行動<sup>\*2</sup>など、多岐に渡る異常行動を検知し、検知結果を ArgosView に通知します。ArgosView の画面上では、映像とマップが強制的にポップアップして表示され、検知内容に応じてマップ上のアイコンが点滅します。これにより、「どこで何が起きているか」が一目瞭然になります。さらに、火災報知器や非常ボタン等、センサー設備による検知結果が同一画面に表示されるため、緊急対応が必要な事象を瞬時に判別することができます。例えば、違和感を検知した場合は、対象となる現場で警戒態勢を取ることが必要となりますが、その後、同じ場所で非常ボタンが押下されたことを検知した場合は、至急対応が必要とされていることが判別できます。

### ② 少数の機材で広範囲のエリアをカバー

1システムで最大 40,000 台の監視カメラ（メーカー11 社、732 機種以上に対応）を統合監視・録画可能な ArgosView と、予め学習した通常行動と逸脱した異常行動を検知することでサーバ1台あたり最大 80 台の監視カメラ映像の一括解析処理が可能<sup>\*3</sup>な Asilla を組み合わせることにより、監視カメラの設置台数が数百台～数千台に上る鉄道の施設や大型商業施設などにおいても低コストかつ省スペースな異常行動検知システムを導入することができます。

### ③ 現場スタッフへの自動通知による迅速対応と被害拡大防止

ArgosView から業務用チャットやメールを介して検知情報を通知し、スマートデバイスで確認できる仕組みにすることで、現場スタッフへ自動通知することが可能になります。例えば、施設内でお客様の転倒を検知した場合、その場所と事象をテキストで通知した上で、現場のカメラ画像を送信します。これにより、事象発生と同時に現場スタッフが発見し、状況を把握することができるため、従来は中央監視室から指示があるまで対応することが難しかった事象について、指示を待つことなく現場に駆け付けることができます。また、電話連絡による非効率や認識相違を防止することにもつながります。

## 「ArgosView」とは

ネットワークカメラの映像はもちろん、IoT デバイスの情報を統合することで安心・安全を実現する映像監視ソフトウェアです。各種ソフトウェアとネットワークの構成の組み合わせにより、自由度と拡張性の高い映像監視環境を実現します。



### ◆主な特長

#### ・“一局集中”遠隔監視

全国に散らばる最大 40,000 台のカメラを、1 か所で集中監視することができ、マルチベンダーカメラにも対応可能です。

#### ・施設内設備と連動し、マップ化が可能

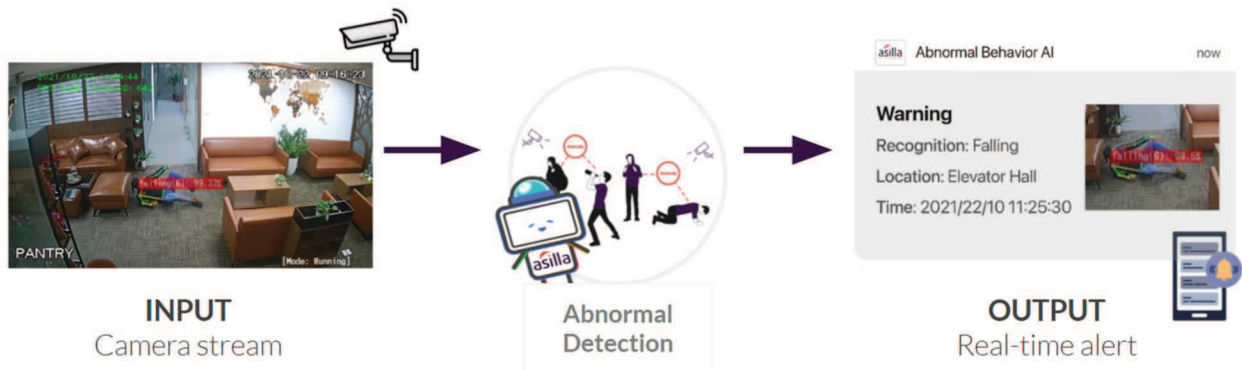
監視カメラ映像だけでなく外周センサーや火災報知器などと連携することが可能で、管理者へマップ表示と映像ポップアップで通知します。

#### ・純国産仕様

安心と信頼の国産ソフトウェアです。国内デバイスとの連携はもちろん、万一の対応や保守にも迅速に対応可能です。

## 「Asilla」とは

防犯カメラに映る人の行動をAIが認識することで異常行動を検知し、即時通知を送ることができます。例えば、異常行動（ケンカ・破壊行為、転倒・卒倒、）や不審行動（千鳥足・ふらつき、長時間の滞留、違和感行動）を検知し、映像を保存、分類して通知することで現場警備員、管理人の迅速な対応を可能とします。また、導入後数日間において、防犯カメラに映る人の行動を学習し、そこから逸脱した通常とは異なる行動（同じ画角内でうろうろしている、きょろきょろしているなど）を「違和感行動」として検知します。これにより、事件や事故が発生する前の予兆行動を捉えて通知することができるため、事故の予防にもつながります。さらに、軽量化されたAIモデルにより大型商業施設やオフィスビルなど、防犯カメラ台数の多い施設においてもサーバ1台で対応可能で、これまでのセキュリティ業界における常識を覆すプロダクトです。



本プレスリリースに記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。本プレスリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

## パナソニック ネットソリューションズ株式会社について

パナソニック NETS は、ワークフロー事業と映像監視事業を柱とし、業務効率化・業務改善や安全・安心の実現に総合的に取り組んでいます。20年以上の豊富な経験・ノウハウを活かして開発したワークフローパッケージ「MAJOR FLOW Z」は、多くのお客さまから高い支持をいただいています。また、映像監視システム「ArgosView」をコア技術とした映像ソリューションは、国内VMS市場においてシェアNo.1を獲得しており、ご好評いただいています。

詳細は Web サイト(<http://pnets.panasonic.co.jp/>)をご覧ください。

### <デモンストレーションのご案内>

上述に記載の機能につきまして、パナソニック NETS 本社で、デモンストレーション展示を行っております。



本展示の見学お申込みにつきましてはパナソニック NETS ニュースリリース担当 山崎 (press-pnets@ml.jp.panasonic.com) までご連絡ください。

展示に関しましては予告なく終了させていただく場合がございますのでご了承ください。

## 株式会社アジラについて

アジラは、人の行動を画像から認識・判別する技術を用いて、世界中に安心安全を届ける AI スタートアップです。あらゆる映像監視サービスは、AI システムの導入が進むことで、事件事故につながる「人物



の動き」を素早く検知し、これを未然に防ぐことができます。1月に初の製品リリースする「Asilla」は、これまでは現場警備員が巡回、立哨、モニタリングにて実施していた警備業務を、24時間・365日AIが監視し続け、かつ転倒や喧嘩などの異常行動が発生した際に即時通知してくれるプロダクトです。これまでは主に録画用途にとどまっていた防犯カメラシステムですが、有事の際に即時通知することで、異常行動の正確性および即時対応が可能となり、警備業務の効率を大幅に改善することができます。また、防犯セキュリティの分野に限らず、自動運転やスマートシティ、介護業界、建設業界など、様々な業種で弊社技術をご活用いただいています。

#### **本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先**

パナソニック ネットソリューションズ株式会社

管理部 経営企画グループ 山崎 e-Mail: press-pnets@ml.jp.panasonic.com

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目3番3号 築地浜離宮ビル12F

株式会社アジラ

映像解析事業部 プロダクトマネージャー 山下 e-Mail: cs@asilla.jp

〒192-0021 東京都町田市中町1-4-2 MBDA304

#### **本件に関するお客様からのお問い合わせ先**

パナソニック ネットソリューションズ株式会社

営業本部 第三営業部 e-Mail: argosview@ml.jp.panasonic.com

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目3番3号 築地浜離宮ビル12F

※1 出典：株式会社富士経済『2017、2018、2019、2020、2021 セキュリティ関連市場の将来展望』

※2 画角特有の人々の行動から逸脱した行動を意味し、例えばショッピングモール内テナント入口付近で頻りに周りを見回している人や、落書きなどの悪戯を実行しようとしている人などの微量な特徴量を検出、把握し不審行動を検知します。このような違和感行動を検知することで、大きな事象を起こす前にその予兆を検出することができ、事故や事件の予防につなげることができます。

※3 Asilla の特徴として、監視カメラが設置された箇所で起こる通常の行動を予め学習することで、そこから逸脱した行動のみを検知対象として画像解析を実施します。これにより、AI システムのコアにおける処理を軽量化し、エッジデバイスでの運用を可能にします（Jetson nano でカメラ1台、NX で3台まで一括処理可能）。例えば、オフィスビル、大型商業施設などの大規模施設において、サーバ1台で最大80台のカメラ映像を一括処理することが可能です。